

高畠高生の活躍

9月21日(木)に高畠中学校で行われた『高畠ゼミ中間発表』の様子が、新聞に掲載されました。記事には、この取り組みに関する本校生徒のコメントが紹介されています。

高畠 学校の魅力高める活動 中学校で高校生が紹介

高畠町の高畠高(吉田晴美校長)の3年生7人による、同校の魅力を高める活動についての発表が21日、同町高畠中で行われた。

高畠高は入学者数が年々減少しており、7人は本年度から総合的な探究の時間を使い「高畠ゼミ」として解決策を探っている。この日は、地域課題の解決に向け活動する東京大の学生の協力を得ながら、校内でカフェを開くといったアイデアを出したと紹介。生徒は「課題解決にはたくさんの人手が必要。学校の枠を飛び越え、みんなと一緒に活動する仲間になってくれることを願



学校の魅力化に向けた取り組みを発表する高畠高生＝高畠町高畠中

う」と呼びかけた。

高畠中1、3年生の計約380人が聴講した。カフェは、10月に開く高畠高の学園祭で、キッチンカーと協力して実施予定という。(菊地健介)

令和5年9月29日(金)「山形新聞」から